

今後のマスクの着脱について

平素から本市の学校教育について御理解・御協力をいただき、感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症対策3年目を迎え、それぞれの学校では感染対策を講じながら様々な学校行事を行っています。先日も3年ぶりに小学校音楽会を開催し、子どもたちの前向きな姿勢に感動し、学校生活の大切さを再認識しました。

そのような中、文部科学省から、令和3年度に行った「生徒指導上の課題に関する実態調査結果」が公表され、その結果から、児童生徒によるいじめ、暴力行為、不登校が前年度より増加し、過去最悪水準の結果となったことが分かりました。「いじめ」について、本年度も小学2年生での認知件数が最多となっており、認知件数の多い学年は、小学3年生、小学1年生と続いている状況です。これは、マスクをすることにより相手の表情やしぐさなど、様々な非言語から相手の気持ちを読み取ることが不十分なことも一因だと思われま

す。

新型コロナウイルス感染症を防ぐ目的でマスクをすることが推奨されてから、2年以上が経ちました。知り合った同級生の顔も、日々授業をしてくれている先生の顔も知らないまま、マスクをしていることが日常となっています。そのため、マスクをしていない姿を見られることが「恥ずかしい」と感じる子どもが一定数いることが分かってきました。マスクが自分自身を隠すものとなり、子どもたちが本当の自分の姿で生活することをためらっているならば、子どもの心身の発達や成長において心配です。私たちは他者とのコミュニケーションにおいて、相手の気持ちなどを感じ取ります。学校は知識の習得だけの場ではなく、コミュニケーション力を育む場でもあります。

子どもたちが本当の姿の自分で過ごせる場となるよう、改めて、マスクの着脱について、御理解・御協力をお願いします。

岩国市教育委員会 教育長 守山 敏晴

<児童生徒の皆さんへ>

- 日差しの強い日やむし暑い日に、暑さや息苦しいと感じたときはマスクをはずしましょう。
- 近い距離で会話をしない場合、登下校時にはマスクをはずしましょう。
- 体育や外遊びのときはマスクをはずしましょう。
- 屋外で、お互いに距離がとれる（2メートル）場合は、マスクなしで会話をしてかまいません。
- 屋内で、お互いに距離がとれる（2メートル）場合で、会話をしない活動（読書や調べたり考えたりする学習・作品製作）では、マスクは必要ありません。
- 様々な事情によりマスクができない友達、マスクをしない友達もいます。マスクをしていないことで、友達を非難することはやめましょう。